

会員のひろば

■ コロナ禍の今こそが頑張り時

北ノ堂 松原 稔

コロナ禍のなかにも明るいニュースがありました。昨年はコロナ感染で中止になっていた春の選抜高校野球大会が、今年の第93回大会は開催されたことです。球児たちの熱いプレーに勇気と感動を受けています。

前後になりましたが3月9日に事務局よりマスクが届きました。ありがとうございます。感謝しております。

新型コロナウイルス感染拡大に注意し、「シルバーさんに頼んでよかった。次回もお願いしたい」といっていただけるよう、すべてお客様目線できめ細かく納得していただくべく、精一杯がんばっています。

また、すばらしい仲間には感謝しております。

遊びごころで名前の頭文字で自己紹介をさせていただきます。

- (ま) 待つのは苦にせぬ、心棒は金なり、わしは昭和の家康じゃー
 - (つ) 辛いピンチこそチャンスと思い、ポイント切り替えは得意じゃー
 - (ば) バランスのよい食事、心地よい運動・睡眠は健康の源じゃー
 - (ら) ライバルがいるからこそ自分を磨く。前進あるのみじゃー
 - (み) みんなが認める楽天おやじ。東北のチームじゃないよ。勝っても負けてもわしは阪神一筋じゃー
 - (の) 飲んだら得意のダジャレと歌も出る。誰をも和ます才があるのじゃー
 - (る) ルール守って安全運転、安全作業。まず健康管理は怠らないのじゃー
- 最後はありがとうで締めたいと思います。“ありがとう”はみんなが笑顔になる不思議なことばです。



■ グラウンド・ゴルフは生涯現役で

馬淵 近井 季雄

グラウンド・ゴルフは昭和57年、鳥取県泊村という小さな町から生まれました。泊村教育委員会と内外の学識経験者および当時の文部省などが中心となり、高齢者にふさわしい新スポーツの開発に取り込むことになったのです。

ここ精華町では精華町グラウンド・ゴルフ協会が中核となって会員相互の親睦を深めています。精華町の11地区(地域)が新会員の募集並びにグラウンド・ゴルフ愛好者のスキルアップに尽力しています。また、打越台グラウンドでは、毎月第3火曜日に月例大会を開催しています。朝8時30分に現地集合、参加費は100円です。精華町広報誌『華創』にもこのことが掲載されています。ぜひ参加してみてください。

「いつでも」「どこでも」「だれでも」できるスポーツを目指してみなさんいきいきと楽しんでおられます。このグラウンド・ゴルフの特徴をあげますと

- * どこでもできる・・・精華町のグラウンドを主に借りています
- * 準備は簡単・・・個人的にはクラブとボールとマーカーがあればできます
- * ルールは簡単・・・ルールとマナーは練習試合で親切に教えてもらえます
- * 時間制限がない・・・毎週されている各チームの練習試合は2～3時間程度
- * 審判員はあなた自身・・・「自己に厳しく」が人望を集めています
- * 高度な技術がなくてもできる・・・大会では女性会員が優勝されることもしばしば

私自身もグラウンド・ゴルフと出合ってから、もう既に10年以上になりますが、このスポーツを通じてたくさんの人と巡り会えたことと、たくさんの親友ができたことが大きな財産になりました。

健康のありがたさを味わいながら今日もグラウンドを駆け回っています。

